

formation remains to be investigated.

References

- Atkinson, L.R. & A.G. Stokey 1964. *Phytomorphology* 14: 51-70. Kachroo, P. & B.K. Nayar 1953. *Phytomorphology* 3: 240-248. Kawasaki, T. 1956. *Jour. Jap. Bot.* 31: 205-209. Klekowski, E.J., Jr. & R.M. Lloyd 1968. *Jour. Linn. Soc. (Bot.)* 60: 315-324. Klekowski, E.J., Jr. 1969. *Jour. Linn. Soc. (Bot.)* 62: 347-359. Momose, S. 1958. *Jour. Jap. Bot.* 33: 1-5. — 1967. *Prothallia of the Japanese Ferns*. Univ. Tokyo Press, Tokyo. Näf, U. 1958. *Physiol. Plant.* 11: 728-746. Nayar, B.K. & S. Kaur 1971. *Bot. Rev.* 37: 295-396. Rashid, A. 1970. *Phytomorphology* 20: 255-261.

* * * *

成長ともなうて、前葉体がどのように性表現を変えていくかを、主として生殖器官の新生能の点から調べてみた。材料はクジャクシダとホウライシダを用いた。その結果、両種とも造精器が造卵器に先行して形成されるが、いったん造卵器が形成されるようになると、クジャクシダでは造精器はもはや形成されないのに対し、ホウライシダでは引き続き形成されていくことがわかった。このちがいは両種の性表現のうつり変わりにはっきりしたちがいをもたらしているが、また、前葉体における生殖器官の形成域のちがいともある程度関連しているようである。

○高等植物分布資料 (76) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (76)

○アメリカズズメノヒエ この植物は、1969年9月、徳島県で採集されたものにより、アメリカズズメノヒエとして報ぜられ (*植研* 46 (11), 348), また1971年7月、茨城県でも帰化していることが記録された (*植物採集ニュース* 52, 2)。これらを見て、どこか見たことがある植物だと記憶をたどって、熊本大学薬学部の標本庫を探してみたところ、1967年7月28日、熊本県鹿本郡植木町平島路傍で採ったものがあつた。その時は私も見なれぬ植物として、その年の秋だったが、当時科学博物館におられた大井次三郎氏の所に標本を持参したことがある。それがこんどのアメリカズズメノヒエであつた。標本は現在手元に1点しかないが、記録されたとおりの特徴をもっている。従つて日本への帰化は徳島より2年早かつたことになる。その後の追跡調査をしていないので、今も生えているかどうかかわからないが、当時は道路の両側に相当沢山繁殖していた。この時の標本の一つは、科学博物館にあるはずである。

(熊本大学薬学部 浜田善利)